

ほ

と

タイムなみき

国分寺地域包括支援センターなみき機関紙 VOL. 3

R3年3月発行

地域の認知症サポーターのリーダー!! キャラバン・メイト

国分寺市では、認知症の人と家族の応援者である認知症サポーターを養成し、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指しています。

キャラバン・メイトは認知症サポーターを養成するための講座を企画・開催し、講師を務めます。住民から相談を受けたり関係機関との連携を図ったりすることを通し、地域のリーダーとなる役割を担っています。

この地域で活躍するキャラバン・メイトの3名の方をご紹介します。キャラバン・メイトになったきっかけや、地域の皆様に伝えたいこと等をインタビューしました!!



きだ まさこ
木田 マサ子氏

長年、東京都や国分寺市の介護に携わる仕事を行っており、その関係から平成18年にキャラバン・メイト養成研修を受けました。

また、地域の支え合いの1つとしてNPO法人介護サポーターズ国分寺の立ち上げを行ない、地域の住民の方の生活や介護の困りごとの支援を行っています。

認知症の方と接する中で、認知症は特別なことではなく、「地域にもっとオープンに出来るようにしたい!!」と考えています。お互いに見守りあえる地域づくりが本当に大切です。

認知症医療の第一人者である長谷川和夫先生が認知症になられた特集をTVで見て、改めて「どう生きるのかの学習がとても大切」「地域と関わるのが大切」と感じ、地域の皆さんにも知ってほしいです。

キャラバン・メイトになったきっかけは、父が認知症になったことでした。父は認知症になり10年以上経っても、日常は大きく変わることなく過ごせました。急に怒り出すこともありましたが、そういう時は母が何か言ったり、怖い顔をしたりしていたのだと思います。周囲の理解がとっても大事、でも夫婦は一緒に年を取っていくから余裕がなくなります。介護者のサポートが本当に大切です。しかし、母は「誰にも言いたくない」となかなか周囲に言えずにいました。地域にもっと普通の事として言えるようになればな…と。

認知症は特別なことではなく、老いるプロセスの中で起きること、普通のこと、それを地域の皆さんにもっと知ってもらいたいです。



わかしま れいこ
若島 礼子氏



みやた ゆきこ
宮田 由喜子氏

昔から、様々なボランティア活動を行ってきました。10年ほど前に、認知症の方の支援を通して、キャラバン・メイトの木田さんに出会いました。その後は、認知症の方のグループホームでのボランティアをするなど、認知症の方と関わる機会が多くなりました。その方々の話を聞く中で、「皆さんに元気になってもらいたい」と思いそのお手伝いとしてキャラバン・メイトとなりました。

認知症は特別なことではありません。年を重ねても物忘れはあります。また、認知症になっても、昔のことはしっかりとお話が出来ます。そうしたお話を引き出して、認知症になっても地域で暮らしていけるように支援していきたいと思っています。

“富士本地域に「みんなの居場所」があったらいいな” 話し合いに参加してきました!!

「富士本にはあまり集まれる場所がないね」「コロナ禍だからこそ、ご近所同士のつながりが大事だよ」「いろんな世代が気軽に集えるみんなの場所があったらいいな」と、熱い思いを持つ地域の住民の方の声から、社会福祉協議会の地域福祉コーディネーターである川端さんと共に話し合いの場を持ちました。

話し合いの結果、「富士本地域にみんなの居場所をつくりたい」と思いは一致、でも課題は山積です。

これらから地域の皆様と共に富士本地域の「みんなの居場所」づくりについて考えていきたいと思っています。地域の皆様の声をぜひお聞かせ下さい。

また、興味がある・仲間になりたいという方も大募集しています。

居場所づくりに興味がある

空きスペースがあるから貸してもいいよ

「ご近所のつながり」は大事、話だけでも聞いてみたい

そんな居場所あるなら参加してみたいなあ

「富士本にみんなの居場所があったらいいな」

①居場所づくりにご意見がある方 ②仲間になりたい・興味がある方 大募集!!

連絡先・問い合わせ先 地域包括支援センターなみき

042-300-3702 担当：高齢者見守りコーディネーター 時弘 夏美

【地域包括支援センターとは??】

国分寺市の委託を受け、65歳以上の方や、そのご家族、地域住民の皆さんの介護や福祉、健康に関する相談を総合的に受ける窓口です。

担当地域：富士本・新町・並木町・北町

住所：並木町3-12-2 至誠ホームミンナ1階

☎：042-300-3702